

平成30年度 学校評価

学校名 北海道おといねっぴ美術工芸高等学校

組織名	学校評議員会
評 価 者	
学校評議員	

1 学校教育目標

- 造形体験を重ね、創造力を育成する。
- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める。
 - 個性を生かし、豊かな自己実現を目指す。
 - 自然に親しみ、情操を豊かにする。創造的な能力と専門的な知識をもち、社会に貢献できる人間を育てる

2 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣を定着させる。
- (2) 生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、キャリア教育を推進し社会性を育成する。
- (4) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。他の生命を尊重し、相手を思いやる「豊かな心」を育てる。

※学校関係者評価基準 A=5:充分 B=4:適当 C=2:不十分 D=1:要検討

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の活用推進 ・職員評価制度の活用推進 ・職員研修の活用推進 	A	A	A
	2 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	A		4.83	4.83	4.83
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施、活用 及び 研修の実施はとても良い。 課題の共通理解は重要である。 ・良好である。 						
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要に向けた教育課程の改善 ・授業改善の推進 ・学習習慣の確立 ・学習意欲の醸成 ・学力ケアの充実 	A	A	A
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	B	B				
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	B	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの検討、IT活用はとても良い。 進路指導による目標設定と学習意欲の向上は重要である ・学力の充実が工芸などにも影響するという点に、意を強くした。しっかりとした論理力や知識を基にした創造力こそ理想だと思う。 ・良好である。 						
生徒指導	6 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 ・安全教育の推進 ・生徒理解の深化 ・教育相談の充実 	A	A	A
	7 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	A				
	8 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・寮と連携した教育体制はとても良い。 ・学校安全の観点から食料備蓄も含め、災害時対策は必要である。 ・良好である。 						
いじめへの対策	9 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒観察、理解の推進 ・いじめ対応の組織的取組 ・寮との連携 	A	A	A
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートから、生徒からの申出だけでは不安。未然防止だけでは不十分であり、いじめやハラスメントの相談窓口の充実が必要ではないか。 ・親から離れた小さな村の生活では、人間関係がおかしくなると居場所がなくなりがちである。エコ・ミュージアム等を含め、地域施設を活用するなど生徒がちょっと違った空気を吸うようなチャンネルや居場所があると良いと感じる。 ・良好である。 						
学校行事・課外活動	10 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化 ・寮生会活動の活性化 ・リーダー研修の充実 	A	A	A
	11 部活動の活発な活動を推進している。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・良好である。 						

進路指導	12 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている。	B	C	<ul style="list-style-type: none"> 計画的進路指導の改善,推進 進路情報の収集 情報提供の工夫 インターンシップの充実 異校種・産学連携の推進 進路開拓の推進 	B	B	B
	13 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	B	B				
	14 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	C	C				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> アンケートから十分達成しているとは言えないが、専門高校の特殊性から指導が難しい事も理解できる。学習指導との連携が重要。 生徒が満足して卒業する事が理想であり、適切な進路指導を得ることは最も重要な事の一つである。従って、先生方は自分達が「どこまで出来たか」をシビアにヨウ化されているように見受けられる。良い形で動いていると思う。 進路状況は十分な成果が挙がっている。更なる向上を期待する。 良好である。 						
健康安全指導	15 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の工夫改善 安全教育の推進 教育相談の充実 関係機関との連携 	A	A	A
	16 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	A				
	17 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な防災訓練をおこない、問題点を洗い出した事を心強く感じた。災害には「想定外」がつきものの分野であり、今後一層の取り組みを期待する。 良好である。 						
研修	18 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な校内研修の充実 研修成果の還元 	A	A	A
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 良好である。 						
組織運営 保護者、地域住民等との連携	19 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	B	C	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織間の情報共有化 互いに話しやすい職場環境づくり P T A活動の充実 H P等情報発信の工夫改善 地域・保護者との連携の充実 	A	A	A
	20 P T A活動・同窓会活動の促進に努めている。	B	B				
	21 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	A				
	22 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	A	A				
関係者評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 良好である。 問題意識の共有は重要。保護者へのきめ細やかな情報公開は安心感を与えると共に、学校の魅力向上にもつながる。 						

※自己評価 評価基準 A=5：充分である B=4：概ね充分である C=2：不十分である D=1：改善を要する

4 学校関係者評価におけるご意見等

<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者の何れのアンケートからも、学校生活の充実感が高い事を嬉しく感じている。全般的に学校が上手く機能していると感じている。 今年度、はじめて北海道大学演習林でインターンシップを受け入れ、生徒には好印象を持ってもらえたと感じている。林業のみならず現場での様々な調査や室内での解析なども行っており、色々な形で「仕事に触れる」ことができるのでインターンシップばかりでなく高大連携を進めていきたい。生徒はもとより先生方の興味に応えられる分野もあるかと思うので活用下さい。 改善の方策は、具体的な目標を掲げた方が達成しやすいと感じた。 評価の為に資料・説明は判りやすく、評価の参考になった。今後も続けて頂きたい。
